



SDGs 達成に向けた取組み

「食のサプライチェーン」を通じて SDGs の達成に向けて活動



目的・背景

食品卸売業として地域商材の販路拡大および商品開発時の支援など、食を通じて地域課題に取り組むことで地域への貢献を目標に活動しています。

具体的な取組内容

令和6年7月

旭食品展示会「フーデム 2024」を神戸で開催。地域商品ブースとして愛媛県企業 15 社と愛媛県に出展いただきました。

令和6年8月

スーパーのバイヤー業務（商品の試食・評価）並びに物流倉庫見学や商品流通について小学生に体験していただくこども職業体験会「こどもバイヤー」を株式会社セブンスター様と開催しました。

『石銚黒茶大福』を株式会社エフエム愛媛様と共同開発し県内のスーパーなどで販売しました。



令和6年9月

株式会社エフエム愛媛様と共同開発の新品『瀬戸内鍋つゆ2種類【かたくち鰯とうま塩仕上げ青空編】・【牡蠣と米味噌仕上げ夕焼編】』を発売。また期間限定の『お四国鍋つゆ2種類【真鯛と柚子風味】・【阿波尾鶏と醤油風味】』を令和6年度も再販売しており、弊社を含む地域問屋3社で構成するトモシアグループの販売網で北海道から九州まで販路を拡大しています。



令和6年10月

愛媛県内の地域商材の販路拡大を目的に愛媛県と『すご味商談会』を開催しました。



令和7年2月

愛媛県と『すご味商談会』を開催予定です。

成 果

- ①令和6年で3回目となるこども職業体験会「こどもバイヤー」を開催。小学生親子7組 14 名が参加。
 - ②令和3年から季節限定発売の『お四国鍋つゆ2種類』令和6年新発売の『瀬戸内鍋つゆ2種類』を 20,000 ケース製造、販売予定。
- ・「こどもバイヤー」は抽選で小学高学年の親子7組 14 名に参加いただき、メーカー担当者様による商品説明や商品の試食、商品がお店に並ぶまでを説明し、商品やその流通について子どもたちに興味を持ってもらうことやバイヤーの業務に関する知識の学習機会を提供できました。
 - ・四国の商材を使用して商品開発を行うことで、地域の良い素材をより多くのお客様に知っていただき、生産者様・地域メーカー様の支援に貢献できたと思います。また、令和6年6月に株式会社エフエム愛媛様と『業務提携』を締結し、1次製品の需要開拓や新商品の開発、県産品の販路拡大に向けて取り組んでいます。
 - ・令和6年6月に愛媛県と『包括連携協定』を締結し、県産品の販売促進等、地域活性化につながるよう取り組んでいます。

担当者の思い

「地域連携・未来志向の実現」「パートナーとの連携・協力で新プラットフォーム構築」といった弊社の令和6年度の経営方針のように、より地域に根差し、地域課題の解決に取り組む企業へと成長できているのではないかと思います。また、SDGsに取り組むことによって、社員が社会に貢献していると感じ、モチベーションの向上につながると感じます。

〈管理部管理課係長 安地 貴裕〉